

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	約 5 年間（2017年12月11日～2022年12月 9 日）	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ルクセンブルク籍の外国証券投資法人「ミレーアセット・グローバル・ディスカバリー・ファンド」が発行する「ミレーアセット・インド・ミッドキャップ・エクイティ・ファンド（円クラス）」（以下「インド・エクイティ・ファンド」といいます。）の投資証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、インド・エクイティ・ファンドの投資証券を通じて、インドの企業の株式（D R（預託証券）を含みます。）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ※当ファンドにおけるインドの企業とは、インドに本社を置いている企業および主たる経済活動をインドで行なっている企業をいいます。 ②インド・エクイティ・ファンドの運用にあたっては、財務状況、成長性、経営の質等に着目します。 ③当ファンドは、インド・エクイティ・ファンドとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、インド・エクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組 入 制 限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

ダイワ／ミレーアセット・
インド株式ファンド
ーインドの匠ー

運用報告書(全体版)
第 1 期
(決算日 2018年 6 月11日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド ーインドの匠ー」は、このたび、第 1 期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0 1 2 0 - 1 0 6 2 1 2
（営業日の 9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

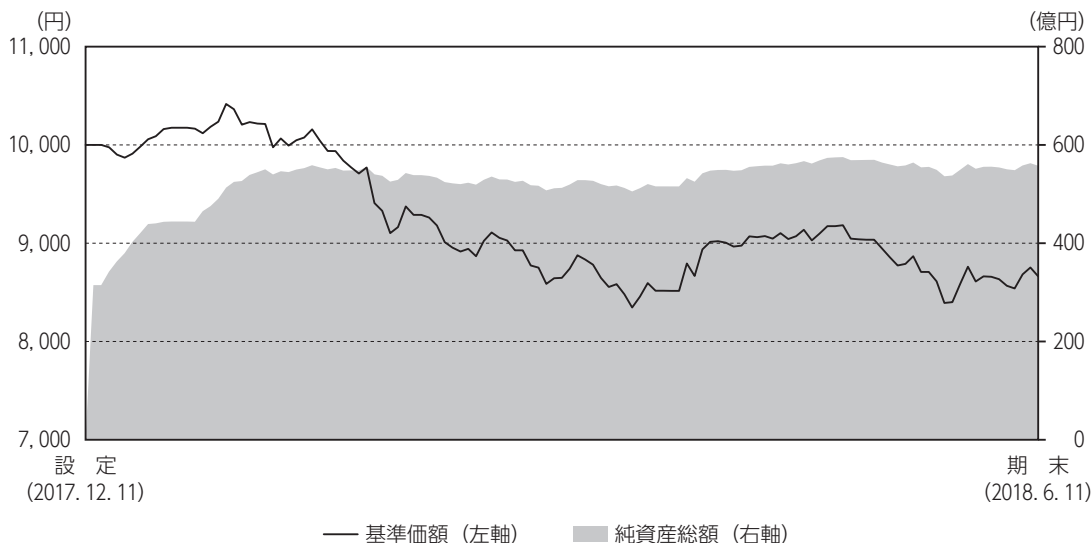
決 算 期	基 準 価 額			M S C I インド指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 証 券 組入比率	純資産 総 額
		税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
1 期末(2018年 6 月11日)	円 8,662	円 0	% △ 13.4	9,436	% △ 5.6	% —	% 98.6	百万円 55,772

- (注 1) M S C I インド指数（配当込み、円換算）は、M S C I Inc. の承諾を得て、M S C I インド指数（配当込み、インド・ルピーベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。M S C I インド指数（配当込み、インド・ルピーベース）は、M S C I Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I Inc. に帰属します。また M S C I Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注 2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 3) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期 末：8,662円

騰落率：△13.4%

■基準価額の主な変動要因

インド株式市場が軟調に推移したことや、インド・ルピーが対円で下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド –インドの匠–

年 月 日	基 準 価 額		MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(設定)2017年12月11日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	% —
12月末	10,119	1.2	10,238	2.4	—	94.8
2018年 1 月末	9,772	△ 2.3	10,332	3.3	—	98.2
2 月末	9,055	△ 9.5	9,586	△ 4.1	0.0	99.1
3 月末	8,516	△ 14.8	9,095	△ 9.1	—	99.0
4 月末	9,098	△ 9.0	9,588	△ 4.1	—	98.7
5 月末	8,663	△ 13.4	9,216	△ 7.8	—	98.8
(期末)2018年 6 月11日	8,662	△ 13.4	9,436	△ 5.6	—	98.6

(注) 騰落率は設定比。

投資環境について

(2017. 12. 11 ～ 2018. 6. 11)

■インド株式市況

設定以来のインド株式市場は、上昇して始まったものの、2018年1月以降の米国長期金利の急上昇やインド政府がキャピタルゲイン税の導入を発表したこと、また一部の国営銀行の不祥事などで投資家心理が悪化したことなどを受けて下落しました。その後は、インドのマクロ経済見通しの改善、国営銀行株の買い戻しの動き、企業業績見通しの改善などを受けて投資家心理が回復し、インド株式市場は反発しました。しかし5月以降は、原油価格上昇に伴うインフレ懸念や米国長期金利の上昇などがマイナス材料となり、下落基調となりました。6月上旬には、貿易摩擦問題に対する懸念の高まりや、インドのインフレ率上昇などを理由としてRBI（インド準備銀行）が政策金利の0.25%ポイントの引き上げを実施した影響などから、株式市場は上値の重い展開が続きました。

また、市場のボラティリティ上昇に伴うリスク回避の動きが強まったことや原油価格上昇に伴う売り圧力の高まりにより、当ファンドが主な投資対象としている中型株のパフォーマンスが相対的に低調な値動きとなりました。

■為替相場

インド・ルピーの対円相場は下落しました。日銀による国債買い入れ減額から量的緩和の縮小観測が浮上したことや米国金利の上昇などを背景に株価が急落する中で市場のリスク回避的な姿勢が強まり、新興国通貨に対する売り圧力が高まったことでルピーは対円で下落して始まりました。その後は、インド企業の好調な企業業績やインドの好調なマクロ経済情勢などを背景として、ルピーが買い戻される局面もありましたが、2018年5月以降は、原油価格上昇に伴う経常収支悪化懸念、米国長期金利の上昇に伴う新興国通貨からの資金流出などがマイナス材料となり、ルピーは軟調に推移しました。

ポートフォリオについて

(2017. 12. 11 ~ 2018. 6. 11)

■当ファンド

当ファンドはミレーアセット・インド・ミッドキャップ・エクイティ・ファンド（円クラス）（以下「インド・エクイティ・ファンド」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。インド・エクイティ・ファンドへの投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■インド・エクイティ・ファンド

個別銘柄では、KOTAK MAHINDRA BANK LIMITED（金融）や、BHARAT FINANCIAL INCLUSION（金融）などのパフォーマンスが相対的に良好であったことがプラス要因となりました。一方で、JET AIRWAYS（INDIA）（資本財・サービス）や、CG POWER & INDUSTRIAL SOLUTIONS（資本財・サービス）のパフォーマンスが相対的に低調であったことなどがマイナス要因となりました。

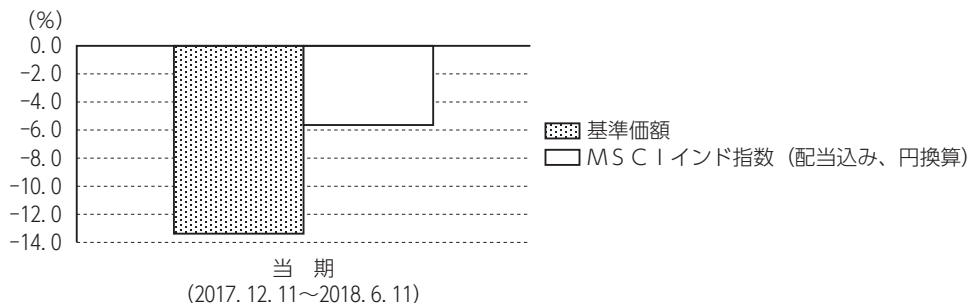
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を行ないませんでした。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2017年12月11日 ～2018年6月11日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、インド・エクイティ・ファンドとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、インド・エクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インド・エクイティ・ファンド

インドの企業の株式の中から、財務状況、成長性、経営の質等に着目し投資します。セクター別では、リテール向けの金融サービスの普及から高い利益成長が期待される金融セクター、インド中間層の消費拡大から恩恵を受ける一般消費財・サービスセクター、インド政府によるインフラ（社会基盤）投資拡大から恩恵を受ける素材セクターなどに投資妙味があると考えます。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 12. 11～2018. 6. 11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	56円	0. 609%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 218円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0. 190)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0. 406)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 002	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	56	0. 611	

- (注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注 2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注 3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託証券

(2017年12月11日から2018年 6月11日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	633, 168. 038	62, 704, 000	—	—

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託証券

(2017年12月11日から2018年 6月11日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
MIRAE ASSET INDIA MID CAP EQUITY FUND CLASS J (ルクセンブルグ)	633, 168. 038	62, 704, 000	99				

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託証券 (ルクセンブルグ) MIRAE ASSET INDIA MID CAP EQUITY FUND CLASS J	633, 168. 038	55, 013, 438	98. 6

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	□ 数	評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	29, 910	29, 991

(注) 単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年12月11日から2018年 6月11日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	29, 910	30, 000	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年 6月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託証券	55, 013, 438	98. 0
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	29, 991	0. 1
コール・ローン等、その他	1, 098, 704	1. 9
投資信託財産総額	56, 142, 133	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年6月11日現在	
項 目	当 期 末
(A) 資産	56,142,133,946円
コール・ローン等	1,098,704,765
投資信託証券（評価額）	55,013,438,154
ダイワ・マネースtock・マザーファンド（評価額）	29,991,027
(B) 負債	369,456,326
未払解約金	50,231,179
未払信託報酬	318,045,398
その他未払費用	1,179,749
(C) 純資産総額（A－B）	55,772,677,620
元本	64,384,099,858
次期繰越損益金	△ 8,611,422,238
(D) 受益権総口数	64,384,099,858口
1万口当り基準価額（C／D）	8,662円

* 設定時における元本額は31,468,951,333円、当期中における追加設定元本額は34,633,199,514円、同解約元本額は1,718,050,989円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,662円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は8,611,422,238円です。

■損益の状況

当期 自 2017年12月11日 至 2018年6月11日	
項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 279,342円
受取利息	6,160
支払利息	△ 285,502
(B) 有価証券売買損益	△ 7,519,440,515
売買益	166,671,745
売買損	△ 7,686,112,260
(C) 信託報酬等	△ 319,252,979
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 7,838,972,836
(E) 追加信託差損益金	△ 772,449,402
（配当等相当額）	（△ 102,384）
（売買損益相当額）	（△ 772,347,018）
(F) 合計（D＋E）	△ 8,611,422,238
次期繰越損益金（F）	△ 8,611,422,238
追加信託差損益金	△ 772,449,402
（配当等相当額）	（△ 102,384）
（売買損益相当額）	（△ 772,347,018）
繰越損益金	△ 7,838,972,836

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	0
(h) 受益権総口数	64,384,099,858口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ミレーアセット・インド・ミッドキャップ・エクイティ・ファンド（円クラス）

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド－インドの匠－）の主要投資対象であるルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ミレーアセット・グローバル・ディスカバリー・ファンド」が発行する「ミレーアセット・インド・ミッドキャップ・エクイティ・ファンド（円クラス）」は、2018年3月31日に第1期決算を行なっておりますが、2018年6月11日現在では決算情報を入手できておりません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド ーインドの匠ー）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2018年 6 月11日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を11ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年12月11日から2018年 6 月11日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
723 国庫短期証券 2018/3/5	千円 220,001		千円

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年 6 月11日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第8期（決算日 2017年12月11日）

（計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第8期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

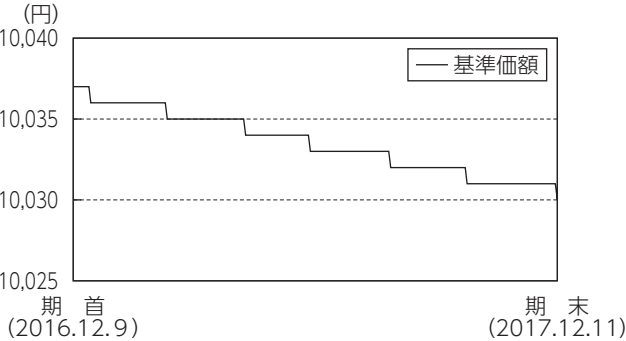
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
(期首)2016年12月9日	円 10,037	% -	% 29.1
12月末	10,036	△0.0	-
2017年1月末	10,036	△0.0	31.1
2月末	10,035	△0.0	25.2
3月末	10,035	△0.0	-
4月末	10,034	△0.0	35.6
5月末	10,034	△0.0	6.4
6月末	10,033	△0.0	0.6
7月末	10,033	△0.0	0.1
8月末	10,032	△0.0	-
9月末	10,032	△0.0	-
10月末	10,031	△0.1	-
11月末	10,031	△0.1	-
(期末)2017年12月11日	10,030	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,037円 期末：10,030円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 116,573,085	千円 (128,940,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は四捨五入。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

当 期			期		
買 付		金 額	売 付		金 額
銘 柄	銘 柄		銘 柄	銘 柄	
645 国庫短期証券 2017/2/20		千円 17,010,400			千円
657 国庫短期証券 2017/4/17		10,150,199			
652 国庫短期証券 2017/3/27		9,790,078			
642 国庫短期証券 2017/2/6		9,700,144			
659 国庫短期証券 2017/4/24		9,120,282			
651 国庫短期証券 2017/3/21		7,630,194			
669 国庫短期証券 2017/6/12		6,970,248			
644 国庫短期証券 2017/5/12		6,690,300			
638 国庫短期証券 2017/1/16		5,120,041			
660 国庫短期証券 2017/5/1		4,590,081			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は四捨五入。

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	30,906,278	100.0
投資信託財産総額	30,906,278	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	当 期 末	基準価額
(A) 資産	30,906,278,899円	
コール・ローン等	30,906,278,899	
(B) 負債	799,000,000	
未払解約金	799,000,000	
(C) 純資産総額(A－B)	30,107,278,899	
元本	30,015,878,475	
次期繰越損益金	91,400,424	
(D) 受益権総口数	30,015,878,475口	
1万口当り基準価額(C／D)	10,030円	

* 期首における元本額は42,294,564,193円、当期中における追加設定元本額は17,178,092,718円、同解約元本額は29,456,778,436円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジあり）3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジなし）1,018,149円、ダイワ米国バンクロン・ファンド（為替ヘッジあり）2014－07 9,963円、ダイワ米国バンクロン・ファンド（為替ヘッジあり）2014－09 9,963円、ダイワ米国バンクロン・ファンド（為替ヘッジあり）2014－11 9,962円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド－ロボテック－947,268円、ダイワ／ミレアセット・インド株式ファンド－インドの匠－29,910,270円、新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）999円、US短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）102,434円、US短期高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり／年1回決算型）1,994円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド－ロボテック－（為替ヘッジあり）39,849円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド（年1回決算型）－ロボテック（年1回）－（為替ヘッジあり）3,985円、ダイワ上場投信－日経平均レバレッジ・インデックス3,969,366,810円、ダイワ上場投信－日経平均ダブルインパース・インデックス5,902,244,309円、ダイワ上場投信－TOP I Xレバレッジ（2倍）指数1,105,650,011円、ダイワ上場投信－TOP I Xダブルインパース（－2倍）指数821,890,786円、ダイワ上場投信－日経平均インパース・インデックス6,073,206,032円、ダイワ上場投信－TOP I Xインパース（－1倍）指数5,071,127,230円、ダイワ上場投信－JPX日経400レバレッジ・インデックス383,378,807円、ダイワ上場投信－JPX日経400インパース・インデックス5,200,107,448円、ダイワ上場投信－JPX日経400ダブルインパース・インデックス205,174,656円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016－07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016－07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2017－06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2017－06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016－10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016－10 997円、ダイワ・ブルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ28,215,782円、ダイワ・ブルベア・セレクト ドル高円安ポートフォリオ104,220,911円、ダイワ・ブルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ49,706,154円、ダイワ日本国債15－20年ラダー型ファンド・マネー

ポートフォリオ－SLトレード－641,089,307円、ダイワ／モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド－成長の雄音（つちおと）－5,020,480円、ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ206,680,116円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ126,940,913円、通貨選択型ダイワ／ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース（毎月分配型）4,184,518円、通貨選択型ダイワ／ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）12,952,078円、通貨選択型ダイワ／ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース（毎月分配型）4,981,569円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／年1回決算型）9,957円、ダイワ米国バンクロン・オープン（為替ヘッジあり）997円、ダイワ米国バンクロン・オープン（為替ヘッジなし）997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）997円、ダイワ／ミレアセット垂亜垂株式ファンド9,958,176円、＜奇数月定額払出型＞ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、＜奇数月定額払出型＞ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ／ミレアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ／ミレアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）ブラジル・リアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ／ミレアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド（年1回決算型）－ロボテック（年1回）－100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし（毎月分配型）99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース（毎月分配型）99,771円、ダイワ／ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジあり）2,088,438円、ダイワ／ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジなし）1,012,911円、ダイワ／ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－ 日本円・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース（毎月分配型）99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－ ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－ 米ドル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－ 通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 米ドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース2,001,563円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,030円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 21,002,641円
受取利息	△ 3,317,956
支払利息	△ 17,684,685
(B) 有価証券売買損益	△ 4,086
売買損	△ 4,086
(C) その他費用	△ 329,559
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 21,336,286
(E) 前期繰越損益金	155,223,882
(F) 解約差損益金	△ 99,854,368
(G) 追加信託差損益金	57,367,196
(H) 合計(D + E + F + G)	91,400,424
次期繰越損益金(H)	91,400,424

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。